

注 意 報

茨城県病害虫防除所

平成 23 年 6 月 24 日

病害虫発生予察注意報 第 2 号

ナシヒメシンクイ第一世代成虫が多発生しています。 第二世代幼虫を対象とした防除を徹底しましょう。

[発令の内容]

作物名 : ナシ
病害虫名 : ナシヒメシンクイ
発生量 : 多い
発生地域 : 県下全域

[発令の根拠]

県予察圃（笠間市）に設置したフェロモントラップへの越冬世代成虫（4～5 月）の誘殺数は、多発生した平成 18 年より多く、過去 11 年中 1 位であった（図）。

6 月第 4 半旬現在、県予察圃（笠間市）に設置したフェロモントラップへの第一世代成虫の誘殺数は、多発生した平成 18 年より多く、平年よりも多い（図）。

6 月第 4 半旬現在、地区予察圃（かすみがうら市）に設置したフェロモントラップへの第一世代成虫の誘殺数は、平年よりやや多い。

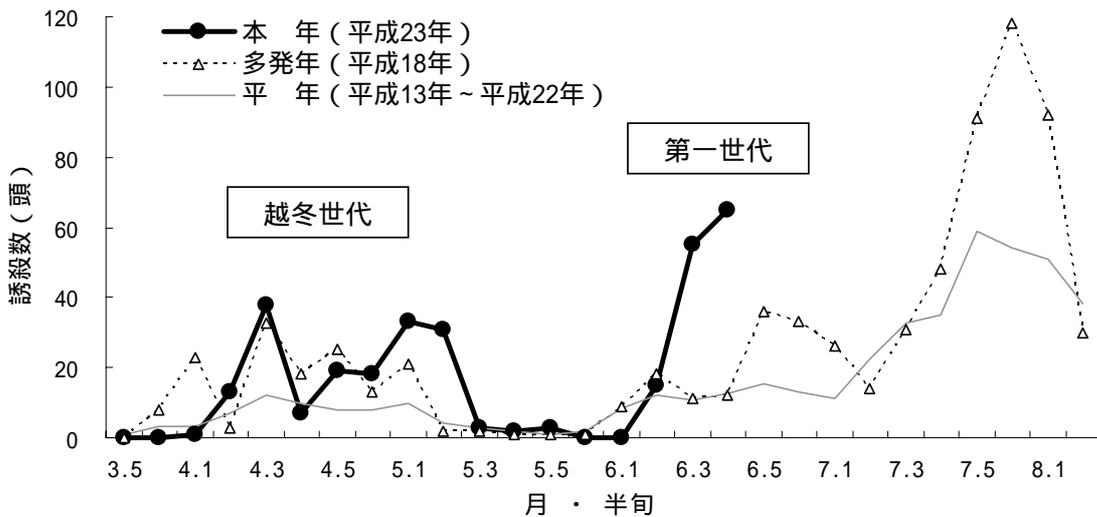


図 フェロモントラップによるナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺数の推移（笠間市）

[防除対策]

被害果を見つけた場合は、土中深く埋めるなど速やかに処分し、次世代成虫の発生を防ぐ。ナシヒメシンクイは世代を重ねるほど発生量が多くなるので、第二世代幼虫を対象とした防除を確実に実施する。

第一世代の誘殺数が最高に達した日から 7～9 日後が、第二世代幼虫を対象とした防除適期となる（表 1）。

参考防除例のシンクイムシ類を対象とした 6 月下旬の防除が、表 1 の防除適期とずれた場合は、表 2 を参考に、適期に応じた追加防除を実施する。

昨年、ナシヒメシンクイによる被害が多発した園では、必ず防除を実施する。

表1 積算気温によるナシヒメシンクイ第一世代成虫の発生予測日と第二世代幼虫の防除適期

地点	越冬世代成虫の 誘殺最盛期 ¹⁾	予測される第一世代 成虫の誘殺最盛日 ²⁾	予測される第二世代 幼虫の防除適期 ³⁾
笠間市（旧友部）	4月第6半旬	6月22日頃	6月29日 ~ 7月1日頃
笠間市（旧岩間）	4月第3半旬	6月19日頃	6月26日 ~ 6月28日頃
小美玉市	5月第1半旬	6月25日頃	7月2日 ~ 7月4日頃
石岡市	4月第3半旬	6月16日頃	6月23日 ~ 6月25日頃
かすみがうら市	4月第6半旬	6月21日頃	6月28日 ~ 6月30日頃
土浦市	4月第4半旬	6月18日頃	6月25日 ~ 6月27日頃

1)各地点に設置したフェロモントラップへのナシヒメシンクイ越冬世代成虫の誘殺最盛期

2)6月21日現在の予測

3)第一世代成虫の誘殺が最高に達した日から7~9日後

表2 ナシのナシヒメシンクイに登録があり，追加防除時の主な薬剤（平成23年6月22日現在）

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数 - 本剤の使用回数	有効成分
サムコルフロアブル10	5,000倍	3 - 3	クロラントラニリプロール
フェニックス顆粒水和剤	4,000倍	前日 - 2	フルベンジアミド

農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用方法・注意事項等を確認のうえ，周辺作物への飛散に留意して使用してください。